

クローズアップ。 日・光・人

日光市で活躍している人、サークルを紹介します。

サークル

人

チーム「タイニー・レボリューション(Tiny Revolution)」(以下タイレボ)は、市社会福祉協議会が開催する中高生のボランティアスクール「ワークキャンプ」の参加者を中心となり、平成15年に結成された10代、20代のボランティアグループです。チーム名は、直訳すると「小さなやかな(小さな)革命」という意味です。自分たちで考え、取り組む活動が決して大きなことではなくても、活動することによって地域に小さな変化が生まれてほしい、という思いが込められています。



タイレボの活動の基本は、自分たちで企画し、運営する自主活動です。自主活動には、リサイクル啓発プロジェクト(不用品のフリーマーケット)や介助犬応援プロジェクト(募金活動の実施、広報紙「タイレボのゆめ」の発行など)があります。これらの活動について、メンバーはこう話します。「自分がやっていることが誰かに喜ばれると、やってよかったですと思います。コミュニケーションの大切さを学んだり、企画から実施まで自分たちで行ったりすることで自己成長にもつながります」。メンバーの高山水樹さん(今市高校)はタイレボでの活動が評価され、ボランティア・スピリット賞でコミュニケーション賞を受賞しました。



テーマを決め、賛成、反対に分かれて討論を行う、ぶっちゃけ荘の様子。

チーム タイニー・レボリューション

自分たちの「やりたいこと」が実現できる場...だから楽しいんです

受賞しました。受賞の感想を聞くと、「自分がやりたくてやったことが評価されてうれしいです。この賞の受賞で、タイレボの活動がみんなに知ってもらえればと思います。次への自信につながりました」と答えてくれました。

現在、タイレボではメンバーを募集しています。受け身ではなく自分たちから発信するボランティア活動。そんな活動に参加してみませんか。

紹介したい人、サークルを募集します

クローズアップ日・光・人では、日光市で活躍している人、サークルを紹介していきます。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※広報にこの掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135



今年7月、パキスタンのカラコルムヒマラヤ山域にある未踏峰コーセル・グンジュ(6,400m)の登頂に成功した森さんを紹介します。

県勤労者山岳連盟に所属する3名の登山隊の隊長として頂上を極めた森さんは、その時の様子をこう話してくれました。「当初、同じ山域にある未踏峰アリン・ピークを目指しましたが、雪崩や険しい水壁に阻まれ、登頂を断念せざるを得ませんでした。そのため、隊の仲間と相談し、目標を急ぎよコーセル・グンジュに変更しました。この山には

過去に6組の登山隊が挑戦していますが、いずれも失敗しています。それを踏まえ、過去の登山隊が取ったものとは違うコースを選択しました。頂上を目指した7月19日は、珍しく一日中晴天に恵まれました。また、前の晩に強い風が吹き、氷が固くなっていたため、水壁も登りやすくなっていたんです。それらが登頂に成功した大きな要因ですね。本当に運が良かったです。

頂上に立った時は、やり遂げたなと思いました。とはいえ、下山のことを考えると、いつまでも感動に浸ってはい

られません。心の底から喜べたのは、ベースキャンプに帰ってからでした」。

20年以上もヒマラヤの山々を登っているというベテランの森さんでも、「怖いと思ったことは何度もある」といいます。しかし、「怖いと思うからこそ、山に登れるんです。なぜなら、登山の基本に忠実に成るからです」とも話してくれました。

森さんに今後の目標を聞きました。「もう、じき63歳になります。70歳までにもう一度7,000m以上の山に登りたいです。例えば、カラコルムヒマラヤ山域にあるディラン(7,273m)などは、あこ



コーセル・グンジュの頂上にて。右端で日本の国旗を持っているのが森さん。

もり はつよし
森 初芳 さん

未踏峰の頂上を極めることは、山を目指す者なら誰もが見る夢

所野 在住

活動データ

活動場所 主に市内
※活動日や場所は、活動内容によって異なります。
メンバー 30名
キャプテン 山越 慎太郎
問い合わせ先
チームタイレボ事務局
(市社会福祉協議会内)
☎(21)2759